

時空の漂泊

(二〇一〇年十二月六日 第三十一号)

高橋 滋

広島便り

二〇一〇里山を歩こう(一)

身近な自然観察

今年私が歩いた里山のいろいろな写真を紹介するが、そこに出てくる



地名を聞いても地元の人でないといふ
ントこないと思う。

そこで写真の理解も深まるように

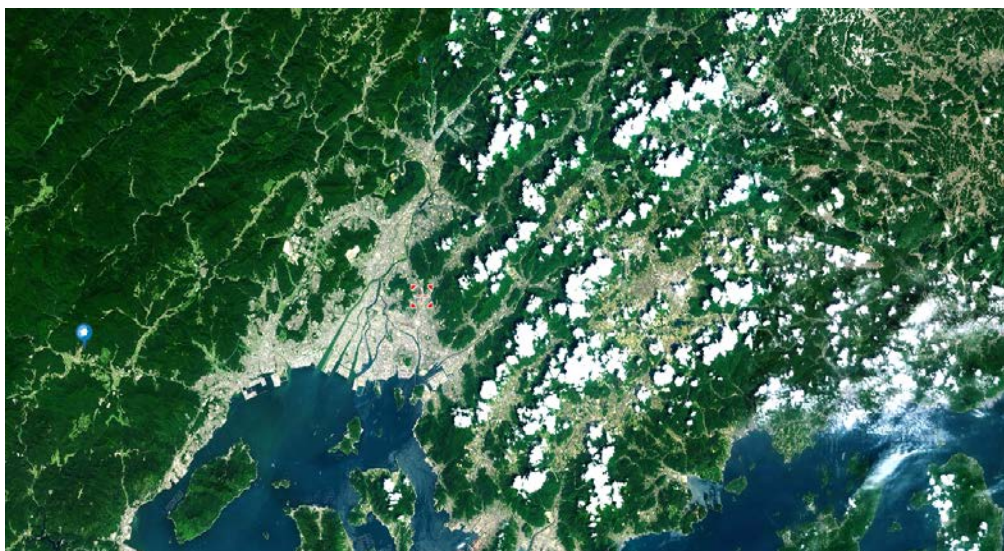
地理情報を少し詳しく紹介させて頂
きたい。これまでも何度も地理情
報には触れてきており、それらを参
照すれば良いのかも知れないが、そ
れだとなかなか分かり難いと思うの
で整理して紹介する。

五年前、はつかいちしきえき 廿日市市佐伯のはながみ花上(地

図の左端の印の場所)に私は小屋を
自作した。その記録を「時空の漂
白」に「広島便り」として連載し
はながみた。この花上は、広島市西区の自宅
から三十キロほど離れている。

ここにほとんど毎週出掛け、庭の
はながみ手入れなどを行っているが、花上の

小屋と自宅との往復に終始している
訳ではない。「里山を歩こう」で紹介
する地域は遙かに広い。



はながみ
花上とは反対側の東広島や島根県
寄りの北広島まで上の地図のほぼ全
域にわたる。

志和の山で梅見 三月五日（金）

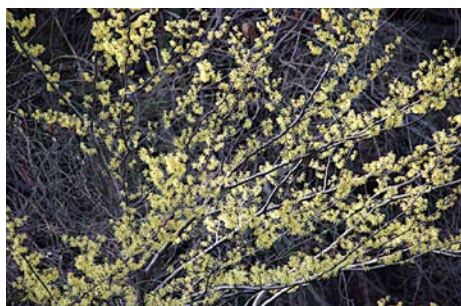
広島市内の街中では梅は二月には
満開になるが、冬が寒い東広島では
三月まで待つ必要がある。

途中、志和の山ちかくの道路沿い
でマンサクを見た。昔は瀬野から八
本松にかけて国道二号線沿いに多く
のマンサクが見られたが、最近はお
まり見かけなくなった。

梅はまずまずだった。

一九八七年の年初に土地を購入し
て開墾してすぐに植えたものだ。も
う二十年以上にもなる。ここに来る
と「年年歳歳花相似たり、歳歳年年

人同じからず……」の気持ちに
なる。





はながみ
花上で椎茸 三月十一日(木)
前々日に雪が降った。その後も少し雪が降った。



はながみ
それで雪がかなり残っている。
花上の集落も雪景色だ。

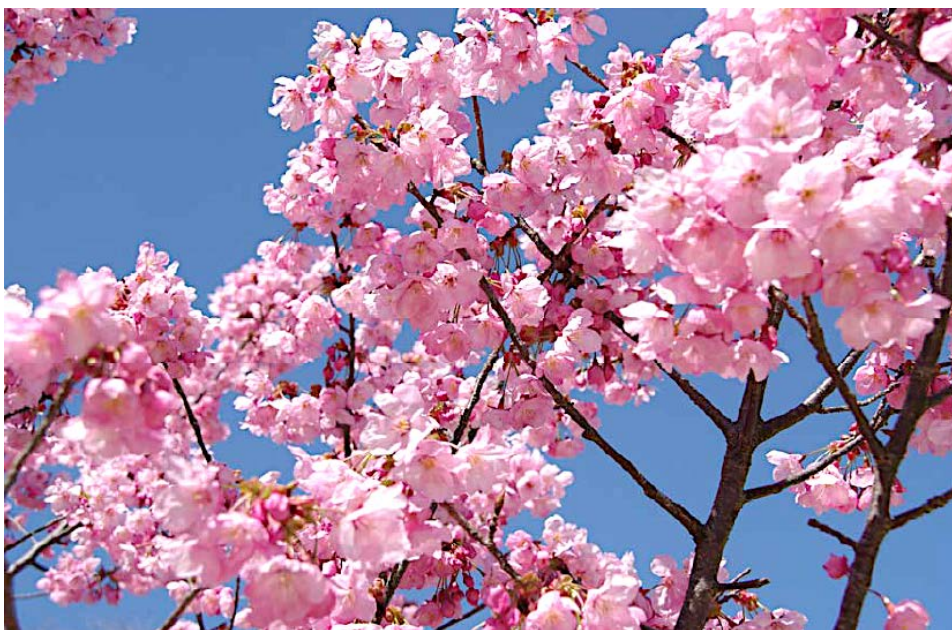




小屋も雪もぐれ。
この時期の積雪量としては、かなり多い。三月になると、日差しが高
く明るくなる。

シイタケの収穫。
原木は十本ほど。二〇〇七年に植
えて、今年が収穫二年目。





広島市佐伯区運動公園にて
早咲きの桜 三月二十一日（日）
今年は桜（ソメイヨシノ）の開花
宣言が早い。東京では、今日か明日

かと言っている。広島は、今年は東
京より遅い。地理的には早くなるは
ずだが、近年は逆転が多い。
最近はいろいろな種類の桜が大きく
育ってきていて、変化が楽しめる。



ヤシヤブシなどの新芽
にのしま
似島の春 三月二十二日(月)

(振替休日・春分の日)

にのしま
似島は、人の住む島として我が家
から一番近く、しかも真正面にある
ので親しみがある。北部(本土側)
に安芸小富士と呼ばれる端正な山
(二百七十八メートル)があり、こ

こは海岸ペリに道路がないので、海
から突き出ているように見える。
天気が良いのでウォークをかね
て、出掛けた。広島港(宇品)から
フェリーがある。



とうしよぶ
島嶼部(離島地域)は緑が早い。
ヤシヤブシなどの新芽がはじめて
いた。



参考
ヤシヤブシ
(ウイキペディアより)
高さ十五メートルぐらいにまでなり、本
州の東西南部（福島県あたり）以西の太平
洋側と四国、九州の低山帯、平野部などに
分布し、日本側にはほとんど自生しない。
街路樹として植えられることもある。早
春の三月頃、葉が出る前に花を開く。葉は
互生し濃い緑色。幅は狭く卵形で、日当た
りを好む。

湯来の「湯の山温泉」

枝垂れ桜 三月二十七日（土）

小屋のある花上のさらに内陸部の

湯来の「湯の山温泉」の枝垂れ桜。

初めて見た。枝が生き生きしている、なかなか綺麗だった。

「広島のお座敷」と言われる「湯来

温泉」に市営の新しい宿泊施設（国

民宿舎湯来ロッジ）が出来た。そこ

に行く途中にある「石ヶ谷峡」によ
った。キブシが咲いていた。

